



TOUR OPERATOR AND TRADING COMPANY



ジグール社 モンゴルへようこそ！

JIGUUR COMPANY PROFILE

会社紹介

会社名	有限会社「ジグール」
所在地	バヤンズルフ地区、第1ホロー、東京通10、「チンギスハンホテル」303-304、ウランバータル、モンゴル
連絡先	TEL: +976-11-461542 / MOBILE: +976-9911-5976 メール: info@visit2mongolia.mn
設立	1994年10月
代表者	ドルジハンド・ミシグドルジ
社員数	4名(正社員) 22名(短期契約)
事業内容	一般の団体ツアーとFITツアーの手配
	ビジネスツアー(航空券、ホテル、送迎、アポ、通訳など)
	SITツアー: 登山ツアー、魚釣りツアー、野鳥観察など、フラワーハイキングツアー、個人ツアー

モンゴル旅行に興味を持たれ、一度は行きたい、再度行きたいと思われる皆様へ

我が社は1994年に創設され、すでに営業は31年になっております。この間、多くの日本からのお客を、青い空と果てしなく広がる草原の各地にご案内してまいりました。

モンゴル国の特徴のある歴史・文化・自然などを紹介し、自然環境に優しい、地方発展の支援となる旅行業を行い、お客様の視点に立ち、満足いただけるようなツアーができるように日々努力しています。「親切」「誠実」「正確」「迅速」というもっとならで対応し、「自然環境に優しい」、「ゴミなし」の行動を応援しております。

モンゴルはまだ発展途上国で、何かと不行き届きの部分があるかと思いますが、これまでの日本からのお客様へのもてなしの多くの経験から、モンゴルでの滞在が充実したものになるように精一杯努めさせていただきます。皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ジグール社のスタッフより

モンゴルはどうやって行きますか？

日本からモンゴルへ飛行機で旅行する際には3つのルートがあります。最もポピュラーなのが成田国際空港や関西国際空港から直行便を利用することです。MIATモンゴル航空（OM）とアエロモンゴリア航空（MO）の2社が夏季は毎日、冬季は週5便の定期便を運航しています。

次にポピュラーなのがソウル経由でモンゴルに来るルートです。ソウル経由でモンゴルに来るお客さんの数も多くなっています。それに伴ない、ソウルからウランバートルまで大韓航空（KE）とモンゴル航空が毎日運航するようになっています。

格安でモンゴルの航空券をお探しでしたらお気軽にお問い合わせ下さい。以上のルートから選択し、航空券や列車のチケットを希望される方は、弊社のEメールや電話で予約を入れてください。我々が24時間のうちに席の状況や料金等について返事をいたします。

査証について

ビジネスや観光で来ている日本の方は査証なしで30日間滞在できます。

モンゴルについて

モンゴル国土は1,566,500 km²、平均1 km²あたりに2人が住んでいます。
(首都ウランバートルに306人が当たります)

西から東まで2,392 km、北から南まで1,259 kmで、海拔の一番低いところは552mに位置するフフ湖（ドルノッド県）、海拔の一番高いところは4374mに位置するフイテン峰（バヤンウルギー県）

2024年でモンゴルの全人口は3,545,000人
首都のウランバートルの人口は1,725,000人、人口の65%は35歳までの青年。
遊牧民生活をしている人は約80万人~100万人

年間の国内総生産は約235億米ドル（2024年、JETRO）
1人あたり国内総生産は4,615米ドル（2024年、JETRO）
経済成長率は4.9%（2024年、JETRO）

主要産業は鉱業（輸出 鉱物資源（石炭、銅精鉱、蛍石など）、原油、牧畜産品（カシミア、皮革）輸入 石油燃料、自動車、機械設備類、日用雑貨、医薬品）、牧畜業、流通業、軽工業

全家畜の頭数は 57,600,000 頭：羊が約 24.5 万匹（全体の 42.5%）、ヤギが約 22.9 万匹（39.8%）、牛が約 5.1 万頭（8.8%）、ラクダが約 48 万頭（0.8%）、馬が約 4.7 万頭（8.1%）

結婚できる、選挙権がある、お酒を飲める年齢は 18 歳で平均寿命は 70 歳：（女性 75 歳、男性 65 歳）、一家の子供の平均数は 3 人、平均給料は約 4 万円です。

快適な旅行の季節

モンゴルへの快適な旅行の季節は、初夏から秋にかけての 6 月～10 月中旬頃までで、厳しい冬が終わると日が長くなり、太陽の強い日差しと豊富な雨によって草原の草がよく育ち、そしてまた家畜もよく育ち、人の心も明るく豊かになるのもっともよい時期です。

健康と保険

モンゴル旅行中に大きな怪我や病気にかかったときには、高度な技術を持った専門医が常駐する病院があります。年中 24 時間体制で北京のセンターを通じ医療機器が装備されたヘリコプターで日本へ移送することも可能になっています。

モンゴルを訪問する際には特別な予防接種は不要です。しかし、空気も水もきれいだからといって、水道水や川の水などを直接飲まないように気をつけてください。旅行中は必ずミネラルウォーターを携帯すること。ゴビ砂漠など日差しの強い地域を旅行するときは日差しをさけるツバ付きの帽子を被り、水分を十分に摂り、熱中症にならないよう注意することが必要です。

通貨

通貨単位はトグルグ（100 ムング＝1 トグルグ）。10、20、50、100、500、1000、5000、10000、20000 トグルグ札が流通しています。大きなレストランやショッピングセンターでは Master、Visa、JCB などのカードを使って支払いをすることも可能です。米ドル、日本円、中国元、ヨーロッパのユーロなどはモンゴルの銀行でモンゴルトグルグに両替することができます。1 米ドルは 3465 トグルグ、1 日本円は 24,4 トグルグとなっております。（レートは 2025 年 7 月 14 日現在）

時差

日本との時差はウランバータルでマイナス 1 時間、モンゴル東部は時差なし、西部はマイナス 2 時間。

電話

モンゴルの国番号 +976、市外局番 +11 (ウランバートル市の場合)
(携帯電話にかける場合は+11は不要、+976+相手の携帯電話番号)

電圧とプラグ

220V, 50Hz。日本製の110Vの一般の家電製品は変圧器なしでは使えません。

料理

モンゴル民族は歴史的に主に畜産に関する仕事で生計を立てており、家畜の乳と肉をいろいろな方法で加工し食料品としました。羊・牛乳でヨーグルト、アーロール(乾燥させたヨーグルト)、チーズなどの食品以外に、シミンアルヒ(家畜のアイラグから醸造した酒)、馬の乳で作ったアイラグ(馬乳酒)、ラクダの乳でホールモグという飲み物等を作って飲みます。特に、馬乳酒には牛乳より10倍も多くビタミンCが含まれているので、体の抵抗力を増強し、肝機能の回復にもとても優れているといわれています。

モンゴル人は小麦、羊肉、牛肉を主食としています。ボーズ、ホーショール、バンシなどの伝統的な料理以外に、ホルホグ、ボードック、ショルログなど祝い事の際に出す特別な料理もあります。また、社会主義時代、資本主義以降、旧ソ連などの外国から新しい食文化が入ってきたため、現在は、ロシア、中国、韓国、日本料理など外国料理専門のレストランも営業いたしております。

交通機関

モンゴル航空と提携して、遠い観光地のコースに利用し、その他のツアーには日本製、ロシア製、韓国製のジープ、マイクロバス、大型バス等で手配をしております。

